

京都教区時報

第153号

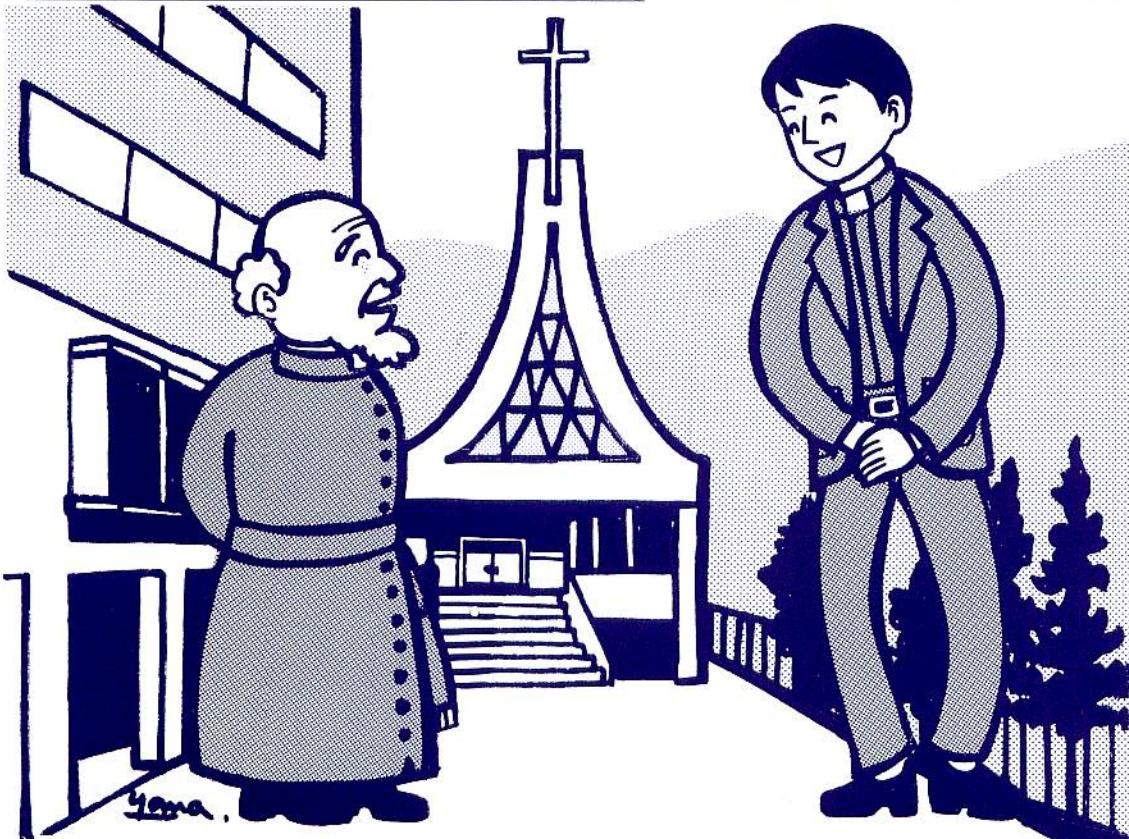
田中司教認可

毎月1日発行

発行 京都司教区 発行責任者 村上透磨

編集 京都カトリック教理センター 住所 京都市左京区仁王門通新高倉東入 Tel 761-9095

)一特集 京都教区これからどうなる-(



特集、「京都教区、これからどうなる」を組んでみた。

以前、時報103号(1985年9月号、生き残れるか京都教区の10年後、思いきった変革)と109号(1986年3月号、適正配置を考える小教区工事)を取り上げて、司祭の人数・年齢、教会の密集度などの問題を取りあげた。

前、司祭の平均年齢は、55・37歳(司教を含む)であつたが、今回5年たつて59・16歳になつていて、人数の変動は若干であるので確実に平均年齢があがっていることがわかる。これがさらに10年後となるとどうなるのだろう。司教の数も気になるが今の人數を確保していたところで、司祭が老齢化すればどうなるのであろうか。人數のことより、年齢の方が気になる。

また、教会の密集度をみてみて

気づくことは、京都市内に教会が多いこと。これは以前にも取りあげられていたが、現在の教会の数を維持しつづけるなら、先の司祭の老齢化の問題とどう対処していくのか、などいろいろの問題が出てくると思う。今回は簡単な資料を提供のみしてみたが、この資料から、みなさまお一人、お一人のご感想、ご意見を待っています。どうぞ忌憚のないみな様の声を寄せて下さい。

せんきょうしほくひようから

—パイプのつまりについての提言・新評議員の紹介—



報告

12月9日～10日 司牧評議会

アジア交流委員会（平竹氏、高橋氏）
平和の歩みについて（松本氏）
宣教活動補助金審査（江口氏）

活動報告
2. アジア交流委員会規約（時報146号）
全体について

▼ 3. 平和の歩み実行委員会
■ 基本的には各ブロックで取り組む

11月17日 常任委員会
議題

1. 10月21日～22日の臨時司牧評の
討議を受けて（時報151号P2
参照）

2. 補助金審査状況について
3. カトリック新聞購読キャンペー

1. パイプのつまり（対話・交流の不
足）についての提言案について

▼ 3. 清住智子、下平美砂、小幡利夫
の3名の青年を派遣、村上（透師）
が同行する。

資料収集委員会（長崎氏）

青年センター（中口氏）
カトリック新聞キャンペー（齊木氏）

▼ バンガラデシュよりロザリオ師
を招き、奈良、京都北部、南部
で講演会、交流会を行う。

パイプのつまり(対話、交流の不足)について提言

京都教区ビジョンの見直しとして、1986年以来審議してまいりました、パイプのつまり（対話と交流の不足）に対する提言がまとまりましたので、ここに提出申し上げます。

私たち、司牧評議員としましては、この提言が公会議、ビジョン、ナイスが目指した「現代社会に生きる神の国の建設」のために努力する私たち、特に京都教区民の回心と刷新と養成に役立つものとなろうと信じております。

なお、この提言の審議経過、または何故パイプのつまりがこのような提言となったかにつきまして、ここに3つの書類をそえて提出いたします。

1. 交流と対話のために 一具体的打開策—
2. ター 一参考資料編—
3. 夏期研修会 呼びかけ文

御国が来ますようにと共に祈り励みながら、下記のように提言いたします。

記

1. 京都教区民は、個人、小教区、教区関係諸団体、諸活動団体のレベル、また信徒、修道者、司祭の間の対話と交流を大切にし、より充実させるような方針を立て、そのための具体的方策を推進する。
2. 教区として“社会と共に歩む”という方向にそって、「福音的意識の養成」を推し進めていく。
方法として、イエズスのまなざしへの変換を目指して、聖書の読み方、典礼を見直す。
(1)あらゆる活動、集まりの機会を通して聖書の分かち合いをする。
(2)ミサや、典礼や、説教を通して共に考えていく。
3. 現実を見直すとき、「信仰」「福音」「福音宣教」「共同体」「典礼」など、キリスト者として根本的な言葉が示す内容が、話す人によりまちまちであることに気付かされる。
これが対話と交流を阻んでいるため、これらの基本語の共通理解を得るよう努力しなければならない。
それに向けて信徒にも使いやすい「カトリック用語の手引き」ができるだけ早く作成し、信徒に配布する。
同時に教区時報を通じて解説する。

付記

- (1)上記の目標を具体化するため、教区のある既存の委員会で、各項目に関連のある委員会を司祭、修道者、信徒で充実し、その委員会において検討を加えていただきたい。
- (2)既存の各委員会の、任務と活動状況を、教区時報の手段によって、教区内に周知させていただきたい。

以上

▼事務局のかかえている問題

事務局が司祭評、修女連、信徒協、諸活動持回りのため問題がある。継続性に欠ける。スタートが遅れる。

提言

- a. 毎年代わるのでなく2、3年継続すれば、または半数改選とか

- b. 計画は1年先のことを考えてもらつた方がよいのでは。

一補足

実行委員会を変える権限は、宣教司牧評ではない。実行委員長は司教。司牧評には報告だけでお願いする。

継続性あるものにするための具体案は実行委員会で検討していくだく。

4. 資料収集委員会

▼ 50周年からの提言でこの委員会が生まれた。資料の保存、活用、将来の充実を目指している。

▼ 現在、古屋司教提供の資料の整理中、約500ほどできた。

5. 青年センター

機関誌、ジョバニ参照

6. カトリック新聞について

6月19日付の資料によると、新

聞社員の給与体制は考えられぬほど悪く驚かされた。その後少し好转したという情報はある。それにしても、もっと経済的支援も必要である。

▼何故読まれないか

内容の問題

司教団の姿勢の問題

広報紙であるのに指針も取り組みも、熱意も感じられない。

広報紙でまったく独立採算であるというのもどうか。

読む姿勢の問題

是非でも読むようとする

主任司祭の意欲と姿勢も

読まない他の理由

購読料送金の繁雜さ

読む時間がない

カトリック新聞の実情を知らない。カトリック新聞があることさえ知らない人がいる。

京都教区の司教団員の名前

京都南部

○奥本裕昭
南沢雅也
中川浩永
庄司博子
柴龍一郎

京都北部

○伊藤嘉彦
花木嘉作
頭島聰
藤村嘉彦
○伊藤武志
二条紀彦
奈良

三重

○江口坂口
素子
桂川美代
○奥本裕昭
南沢雅也
中川浩永
庄司博子
柴龍一郎

諸活動

○岡原山家
岡原康嗣
岩崎章太郎
佐藤綾子
○三俣俊二
新谷喜美子
○下平美砂
○斎藤翠
○村上透磨
藤原伸也

広報担当

○江口坂口
素子
桂川美代
○奥本裕昭
南沢雅也
中川浩永
庄司博子
柴龍一郎

★新しい評議員のみなさんです
よろしく!



三重

○宮西いずみ
木塚竹美
渡部直樹
北川保
○長谷川貞一
黒田公子
○松本秀友
○高橋朗子
○下平美砂
○斎藤翠
○村上透磨
藤原伸也

司祭団

○長谷川貞一
黒田公子
○松本秀友
○高橋朗子
○下平美砂
○斎藤翠
○村上透磨
藤原伸也

司教

田中健一
村上真理雄

京都南部

○高橋朗子
○下平美砂
○斎藤翠
○村上透磨
藤原伸也

京都北部

○高橋朗子
○下平美砂
○斎藤翠
○村上透磨
藤原伸也

修女連

○高橋朗子
○下平美砂
○斎藤翠
○村上透磨
藤原伸也

青年センター

○高橋朗子
○下平美砂
○斎藤翠
○村上透磨
藤原伸也

バルドス

○高橋朗子
○下平美砂
○斎藤翠
○村上透磨
藤原伸也

宗教座教会

○高橋朗子
○下平美砂
○斎藤翠
○村上透磨
藤原伸也



(○は常任委員)

京都教区

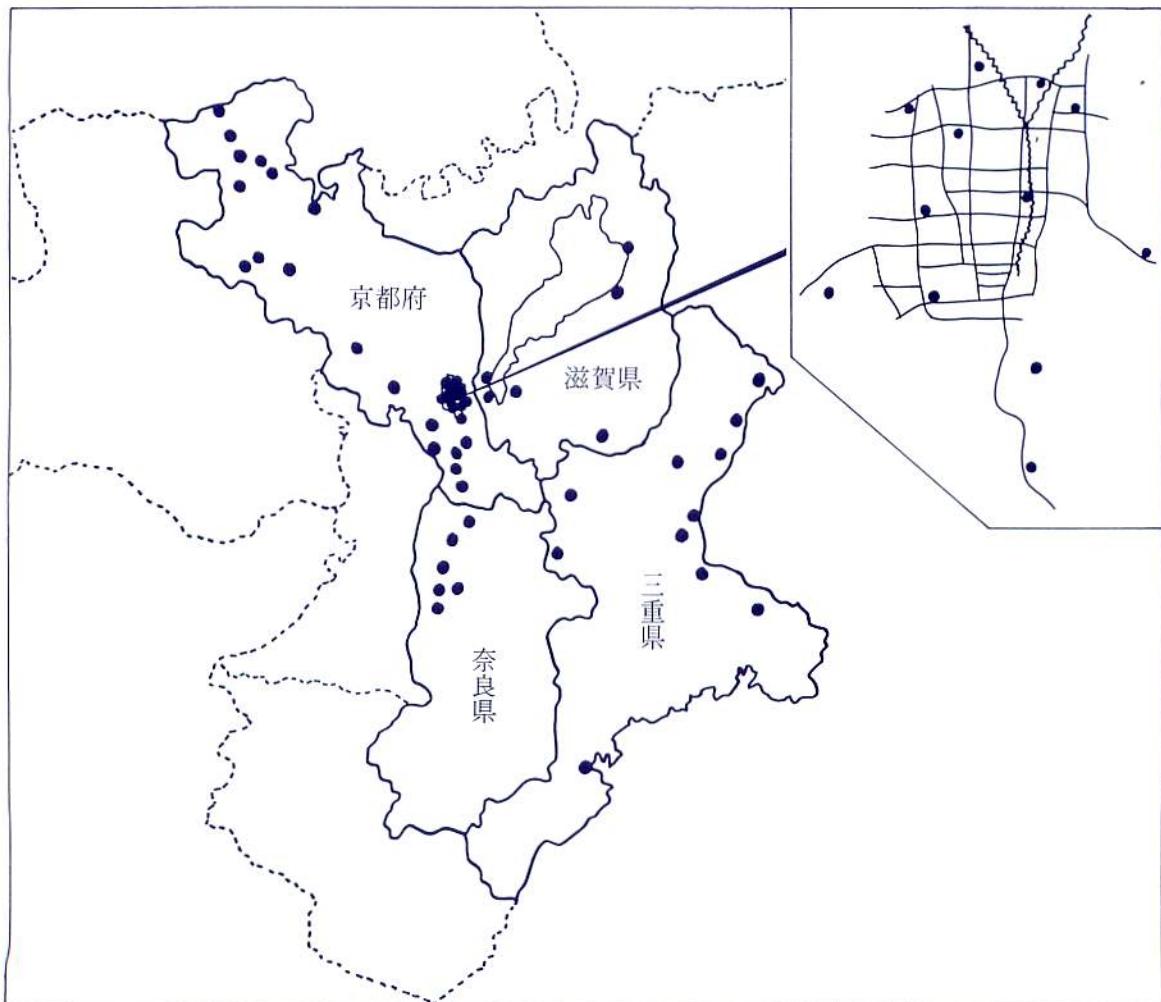
- 司祭の年齢・人数
- 神学生は
- 任期の問題

これからどうなる

さあ！みんなで考えてみよう

1 京都教区の教会

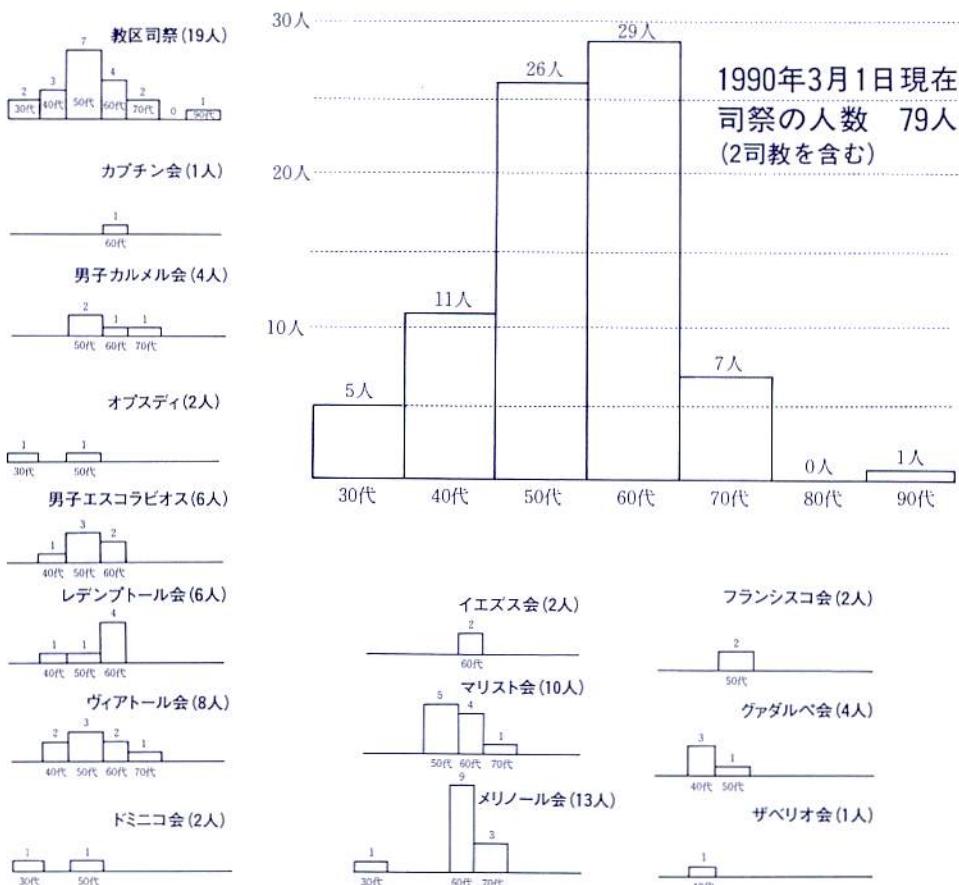
こんなに地域によって密集度がちがう



2

司祭の人数・年齢は、

平均年齢五九・一六歳



3 司祭の任期って あるの、ないの

司祭のニンキはどうなっているの?
ニンキって何? ニンキでニンキを決められては困るし……任期が人気によつて左右されるのは困ります。でも意外にこの事が司祭の人事異動の中でも重要な位置を占める様な気がします。人気のある神父がほしい。

人気のある司祭は手離したくない。急に移転させられると人気が失くなつたのではないかと判断する人もある。それでは異動は気になります。以上の事、單なる言葉の遊びにすぎぬのならそれは幸いな事ですが……。

司祭の人事異動となると、どうも小教区の格付け(?)があるらしく、左遷とか榮転とか誰かが仰言する。大きい教会、将来性のある教会が良い教会だと、誰が決めたのでしょうか? ひょっとしたら、数人の信徒の人しかいない教会が価値の低い教会と言うのでしょうか。こんな事を書くと何か失礼な事を書いている様で申しわけなく思ふ。でも司祭も信徒も、そんな評価をしがちではないでしようか。よく解りませんが何んとなく。

申し分のない司祭が居て、何の後指もさされない立派な司牧をしているとしましょう。それでも、やっぱり肌の合わない人がいるものです。イエズス様の肌に合わない人もいましたし、聖人同志で喧嘩しあつてた例もある事ですから。だったら何十年も同じ人がそこにあるとしたら、たまらない思いをする人も沢山いるわけです。

何か心理的な面ばかり書きづら

ねました。本当はもつと本質的な事があるのでしよう

今多くを語る事は出来ませんが、この問題は信徒も司祭も、そして教会自体も「住えるもの」「奉仕するもの」という事。又「派遣されるもの（信徒）」であるという使命感を持っているという事にかかっているといえるのではないでしようか。

やつぱり一応の任期を決めておく必要がある様に思えます。

例えば、3年3期まで、或いは5年2期まで：（これは10年ほど前から少しづつ声が出はじめている事なのです。）この方が冷たい様でもしろ温かくすつきりしているし、計画もたてやすいと思うのですが。感情的にならず、冷静に考えてみたいと思います。



4 神学生はどうなっているの



ただいま、
3人

(前列左)

北村善朗

(助祭叙階3月25日)

(後列右)

福岡一穂

(宣教奉仕者)

(後列中央)

森田直樹

(宣教奉仕者)

みなさんのご意見をお待ちしています

原稿用紙 1枚～2枚

〆切り 4月12日まで

送り先 京都教区時報編集部

〒606 京都市左京区仁王門通新高倉東入

あんてな (((((お)))))

耳をダンボにすると
見えてくる?
聞こえてくる!!
青年のひとりごと

京福電鉄・嵐山線の西院駅より
吊り革にぶら下がった私のすぐ
隣りに立った、男子高校生二人が
何やら話を始めました。好氣心旺盛の私は、右の耳をダンボにして
暫く拝聴することにしました。

「おふくろが帰らないと腹がす
いてたまんない、つて奴の気が知
れないぜ。俺は夕方帰ると自分の
ものをサッサと作って食べるんだ。
だから夕飯はいつも一人で食べる。
少しは寂しいけどもう慣れた。」

「アツ俺も同じ。一人が慣れて

◎青年センター事務局の移転

聖ドミニコ女子修道会のご好意
により、発足時から事務局のお部
屋をお借りして来ました。契約切

れの4月以降ですが、夏頃までに

この短い会話をあなたは
どのように感じられました
か。私はとっさに振り向き
(言つてやりたくなりまし
たが、そこまで私だつて)。

夕飯つて、家族が揃つて
食べるからおいしいんです
よね。みんなが一日あつた
ことを話せる場つて大切。

から親父とおふくろが一緒なん
で、けむたくて食べねえよ。」

「君達、ご飯おいしい?」と。
「アツ俺も同じ。一人が慣れて

子供の命は親や大人達の自由に

出るという思いがあがりがあつて
命の軽視に結びつく。
私は科学の進歩に対し「さお」さ
すつもりはないし、かえつてそれ
は大きな人間の進歩だと思います
が、それだけに責任の大きさを痛
感するのです。そして人間にそれ
だけ大きな重荷を背負い切れるの
かとも思うと殆んど絶望的です。

そんな絶望は私の不信仰から來
るものだとか、人間に対する
不信感に根ざしているのなら、
せめてもの救いなのですが。

将来私も、たいへんだろうけど、
やつぱり素敵な家庭作りたいな!!
すみません!家庭を持ったこと
もない青年のひとりごとでした。

人々のせんりつと怒り
でも私は二つが奇妙に結び
つき、一瞬ぞつとし、その思
い離れない。

でも私には二つが奇妙に結び
つき、一瞬ぞつとし、その思
い離れない。

チャウエスクの子なし部隊
大統領を父と仰ぎ
絶対服従の殺人部隊に育て
られ彼等が大虐殺をしたと
言う。

殆んど同時に記載された記事
も、それでも弱く、も
ろく愚かなんですよねえー。
よほどしつかりした宗教觀
や、倫理感に支えられない、
人間はもう生きていけなくな
った。

それにまだ科学絶対主義
者がいる。人間の力におぼ
れられている人がいる。神なんて
不用だ、と思い込んでいる人
がいる。

殺人部隊については、そのおそ
ろしさについて何も申し上げる事
はありません。これは人を人とも
どの賢明さが働かぬ限り、人間は
背負い切れぬ重荷を持ち込んだ事
になります。

子供の命は親や大人達の自由に
出るという思いがあがりがあつて
命の軽視に結びつく。
私は科学の進歩に対し「さお」さ
すつもりはないし、かえつてそれ
は大きな人間の進歩だと思います
が、それだけに責任の大きさを痛
感するのです。そして人間にそれ
だけ大きな重荷を背負い切れるの
かとも思うと殆んど絶望的です。

そんな絶望は私の不信仰から來
るものだとか、人間に対する
不信感に根ざしているのなら、
せめてもの救いなのですが。

でも人間はとても弱く、も

ろく愚かなんですよねえー。
よほどしつかりした宗教觀
や、倫理感に支えられない、
人間はもう生きていけなくな
った。

それにまだ科学絶対主義
者がいる。人間の力におぼ
れられている人がいる。神なんて
不用だ、と思い込んでいる人
がいる。

「ちょっとあなたも
ちょっとわたしも (26)

殺人部隊については、そのおそ
ろしさについて何も申し上げる事
はありません。これは人を人とも
どの賢明さが働かぬ限り、人間は
背負い切れぬ重荷を持ち込んだ事
になります。

子供の命は親や大人達の自由に
出るという思いがあがりがあつて
命の軽視に結びつく。
私は科学の進歩に対し「さお」さ
すつもりはないし、かえつてそれ
は大きな人間の進歩だと思います
が、それだけに責任の大きさを痛
感するのです。そして人間にそれ
だけ大きな重荷を背負い切れるの
かとも思うと殆んど絶望的です。

そんな絶望は私の不信仰から來
るものだとか、人間に対する
不信感に根ざしているのなら、
せめてもの救いなのですが。

でも人間はとても弱く、も
ろく愚かなんですよねえー。
よほどしつかりした宗教觀
や、倫理感に支えられない、
人間はもう生きていけなくな
った。

それにまだ科学絶対主義
者がいる。人間の力におぼ
れられている人がいる。神なんて
不用だ、と思い込んでいる人
がいる。

殺人部隊については、そのおそ
ろしさについて何も申し上げる事
はありません。これは人を人とも
どの賢明さが働かぬ限り、人間は
背負い切れぬ重荷を持ち込んだ事
になります。

子供の命は親や大人達の自由に
出るという思いがあがりがあつて
命の軽視に結びつく。
私は科学の進歩に対し「さお」さ
すつもりはないし、かえつてそれ
は大きな人間の進歩だと思います
が、それだけに責任の大きさを痛
感するのです。そして人間にそれ
だけ大きな重荷を背負い切れるの
かとも思うと殆んど絶望的です。

そんな絶望は私の不信仰から來
るものだとか、人間に対する
不信感に根ざしているのなら、
せめてもの救いなのですが。

でも人間はとても弱く、も
ろく愚かなんですよねえー。
よほどしつかりした宗教觀
や、倫理感に支えられない、
人間はもう生きていけなくな
った。

それにまだ科学絶対主義
者がいる。人間の力におぼ
れられている人がいる。神なんて
不用だ、と思い込んでいる人
がいる。

子供の命は親や大人達の自由に
出るという思いがあがりがあつて
命の軽視に結びつく。
私は科学の進歩に対し「さお」さ
すつもりはないし、かえつてそれ
は大きな人間の進歩だと思います
が、それだけに責任の大きさを痛
感するのです。そして人間にそれ
だけ大きな重荷を背負い切れるの
かとも思うと殆んど絶望的です。

お知らせ

教区スケジュール

3月 4日(日)	教区合同洗礼志願式
5日	京都結婚互助会相談会
6日	報交換及び相談室開設
7日	司祭評議会
8日	RCIA(河原町教会)
9日	部落問題委員会学習会
10日	修女連総会
11日(日)	S・V・P中央理事会
12日(祝)	教会学校教師会総会
13日(木)	(カトリック会館)
14日(金)	カトリック幼稚園連盟研修会(カトリック会館)
15日(土)	チップ美恵子さんのお話しきく会
16日(日)	子羊会例会(高野教会)
17日(月)	助祭叙階式予定(長浜教会)
18日(火)	聖香油ミサ AM11時45分
19日(水)	講演 AM10時
20日(木)	(ミサ中宣教奉仕者選任式予定)
21日(金)	カトリックスカウト
22日(土)	カトリックキヤンブ
23日(日)	宗教トレーニングセンターセミナー
24日(月)	カトリック部落問題委員会
25日(火)	チップ美恵子さんのお話しきく会
26日(水)	チップ美恵子さんのお話しきく会
27日(木)	チップ美恵子さんのお話しきく会
28日(金)	チップ美恵子さんのお話しきく会
29日(土)	チップ美恵子さんのお話しきく会
30日(日)	チップ美恵子さんのお話しきく会
4月1日	チップ美恵子さんのお話しきく会

（野外礼拝センター）

カトリック部落問題委員会

▼ 詳細申込は **075-2223-2339** 1

内容
日時 4月21日(土)～22日(日)

テーマ
人権と差別
「差別問題の認識をどのように深めてきたか

◎1990年春の合宿

からのご案内
カトリック部落問題委員会

サラフィナの声

ロードショー

- 主催／サラフィナの会
- お問合せ／京都映画サークル
- ☎075(231)5270
京都映画センター
- ☎075(256)1707
京都朝日シネマ
- ☎075(255)6760
●上映協力券／一般 1,100円
(当日大人1,600円)
中高生 900円
(中学1200円・大高1,300円)

講演会のご案内

カンペーンハウド師—秘跡について

日時 3月29日(木)AM10時

場所 河原町教会聖堂

主催 司祭評議会

▼講演会後、聖香油ミサがあります。
(前号で講師の名前が誤っていました
慎んでお詫び申し上げます。)

▼指紋と人権を考える会
公開学習会のご案内

テーマ
「蒙古襲来と朝鮮」

日時 3月18日(日)AM11時
場所 小山教会伝道館
ビデオ上映会

未知の場所に出かけるとなると
つい構えてしまう。失敗してはいけない。欺されてはいけない……
失敗したって良いじゃない？まま
よ、そう思つたら何かがとけた。
善意と神の手に委ねさあ出発。(M)



風のめぐみ

チップ美恵子さんのおはなしをきく会

とき '90年3月24日(土) PM6:00～8:00
第1部 アイヌ民族の生活と文化

アイヌ民族とその文化を「ほろびゆくもの」「おくれた文化」と決めつけた「アイヌ民族誌」。アイヌを標本扱いする和人のアイヌ研究のありかたを問うアイヌ肖像権裁判で、全面勝訴ともいえる和解を勝ちとられたチップさんには、アイヌの生活と文化について話していただきます。自然、「いのちのめぐりの輪」をたいせつにするアイヌ民族のこころに耳をかたむけたいと思います。

とき '90年3月25日(日) PM1:30～3:30
第2部 アイヌ民族の歴史と人権

軽蔑し、ねじまげ、奪い、おしのける関係ではなく、尊敬しあい生かしあう関係をつくりあげるにはどうすればよいのでしょうか。異なるものを異なるものと認め、だれもが自分らしく生きることのできる社会を、わたしたちはつくれるでしょうか。まずは人がアイヌ民族に対してもつけていたことを正しく知り、今も文化や言葉や資源をうばいつづけていることを認めるところから始めたいと思います。「和人が私たちアイヌを対等な人としてどちらえることができたのなら、そのとき、和人はアイヌ・ネ・アン・アイヌ(人間らしさ・人間)になれるであろう」というチップさんとのびかけを、しっかりうけとめながら。

ところ 京都府部落解放センター
京都市北区小山下緑町5

入場料 1日…400円 2日通し(前売りのみ)…700円

小学生無料

主催・問合せは京都カトリック教理センター
☎075-752-0057